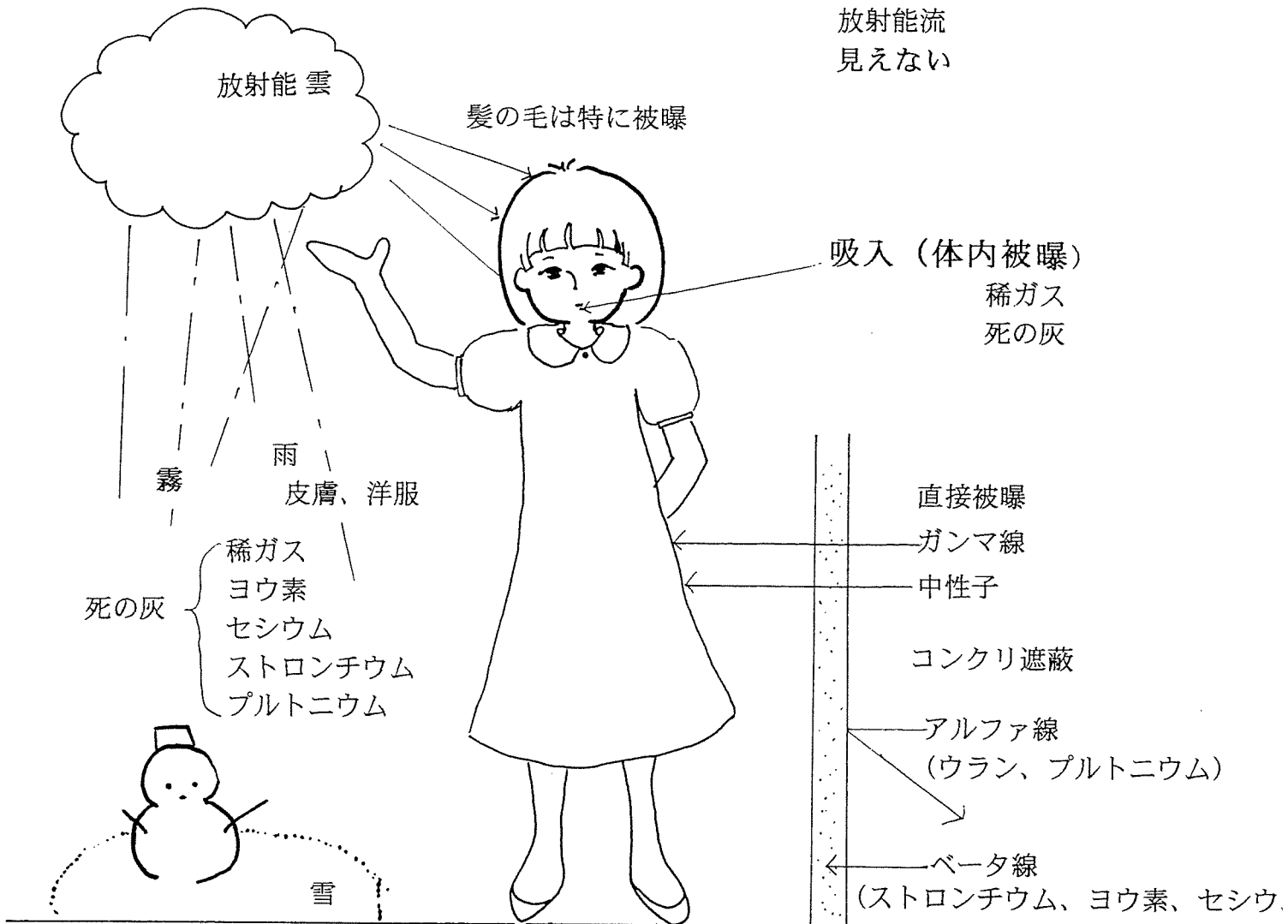


防災の手引き

核事故が、起きた時！

老朽化原発の炉心融解、巨大地震、再処理工場の臨界事故
核施設火災、核輸送事故、いつ大災害が起こるかわかりません。

1、どのように放射能被害を受けるか



土 水

野菜、茸、果物。井戸水、河川

体内被曝 空気を吸うことによって被曝

死の灰で汚染された雨や水、食べ物の摂取

体外被曝 中性子、ガンマ線は直接透過
死の灰を空気、雨、雪、霧から

防ぎ方

濡らしたマスク、タオル、
汚染されたら飲まない、食べない
ヨウ素剤を飲む

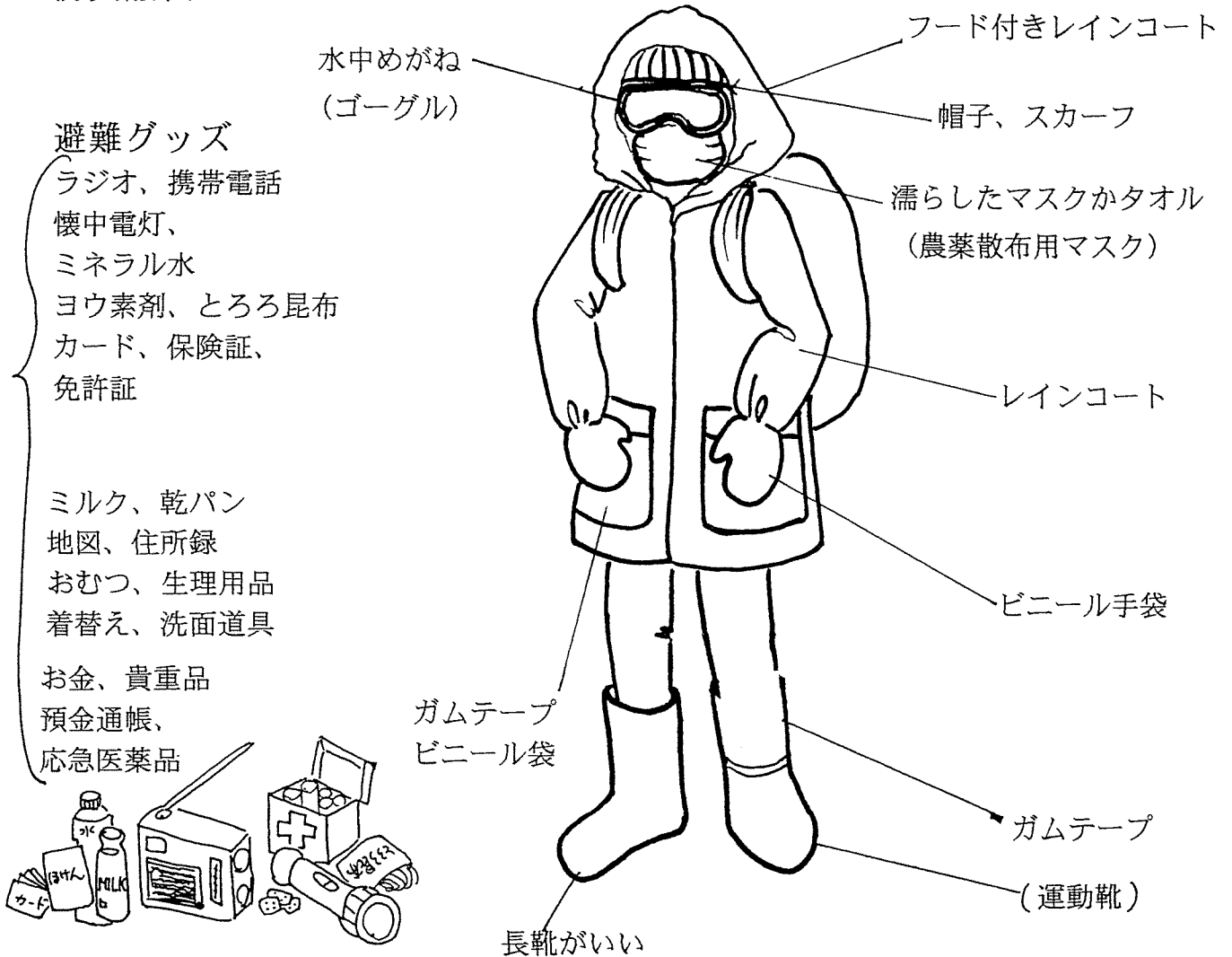
コンクリートの建物の中に入る
衣服、帽子、手袋、ゴーグル、長靴、
レインコート、ガムテープ

ヨウ素剤の問い合わせ：反原発薬屋さんネットワーク (075-541-2176 長谷川)

2 災害の備え

- 1、あらかじめ逃げる先、連絡先を決めておく。(家族集合場所：離散時の連絡場所)
- 2、妊婦、乳幼児、子供のためにヨウ素剤を用意する。とろろ昆布でもいい。
- 3、妊婦、子供と老人、障害者を優先して避難させるよう手筈を整えておく。
- 3、風の方向別に逃げるルートを考えておく。
- 4、防災グッズ、防災服装を常に用意しておく。

防災服装



1、災害の種類と行動指針

レベル	現象と影響	事故例	行政	市民
2	排気筒から少量の稀ガス	美浜2号ギロチン破断		情報収集
3	少しの放射能の外部放出	東海再処理火災	特定事象発生	現地・逃げる準備
4	少量の放射能の外部放出	JCO事故	緊急事態宣言	現地・逃げ出す
5	炉心のかなりの損傷、		屋内退避	風下10*まで逃げる
5	炉心溶融	スリーマイル島	コンクリ退避	風下30*まで逃げる
6	かなりの放射能の外部放出		コンクリ退避	風下50*まで
6	多量の放射能の外部放出		自衛隊	
7	原子炉容器破壊・再処理臨界事故		現地避難	
7	核暴走、格納容器・建物破壊	チェルノブイリ		風下150*まで

3、核事故が起こったら脱出 (風下150キロまで考慮)

行政の指示は遅すぎ。コンクリ退避まで。10キロ圏閉鎖の可能性

1、ラジオか携帯テレビで、事故の状況、天候を把握。(天気、風向き、風力)

北の風は、北からの風。雨なら現地付近、強風なら遠隔地が危ない。

2、妊婦、子供と老人、障害者を優先して避難

3、できるだけ家族そろって避難用の服装で、リュックをもって車に乗る。

4、風上から90度の範囲の方角へ逃げる。

5、雨、雪、霧の場合は、車の中か家の中に。降り始めは特に危険。

6、交通渋滞になったら、交通の邪魔にならないところへ、車にキーをつけて放置。

7、歩いてでも10キロ圏外に出る。(風下は厳禁)

脱出ルート (地域別マップ)

1、若狭 15基 雪 老朽

福井、京都、大阪、兵庫

日本海

マップ良

北北西の風の場合

若狭湾

縮尺

0 4km



4、脱出後



核の重大事故の場合、すぐにおさまらず、収束までに1週間以上かかる場合があります。JOCでも臨界が収束したのは18時間後であり、20日間は排気筒から放射能が出続けました。スルーマイル島でも5日間放射能が出ました。チェルノブイリは12日間大量放射能放出が終息せず、核物質は微量ながらもいまでも石棺から出ています。

1、30キロ～60キロですぐ避難の必要がない場合。

○ 逃げてきた人をケア。（お寺、教会などを避難先として明記しておく）

汚染されていない飲み物、食べ物をあげる。妊婦、乳幼児、子供の順にとろろ昆布や海藻を食べさせる（ヨウ素は7日間服用）。シャワーで身体を除染する。身に着けていたものをポリ袋に入れて密閉し戸外に出す。（ポリ袋を避難してきた人たちの為に用意する。）車その他を濡れ雑巾で拭く。替えの衣類や寝泊まりする所を提供する。

○換気扇、換気口、窓などをガムテープで目貼りし、外気になるべく入らないように。

（風速2メートルで60キロに達するには8時間、山の近くは放射能が吹き溜る）

○飲料水、食料を確保する。畑や田もビニールシートで覆う。

○ 家畜、ペットも小屋にいて、食べ物、飲み物に気をつける。

○ 自分も避難する時は、鍵をかけない。（後から避難してくる人の為）

2、60キロ～150キロですぐ避難の必要がない場合

○汚染されていない飲料水、食物の大量の確保

○農作物の収穫、農地にビニールカバー

3、150キロ以遠

○データ、情報の収集、把握。（原子力情報資料室、グリーンピース、海外支援要請）

○宗教者の会連絡網で、行政の手の届かないところをするため、被害者救援体勢を作る。

○収束後の行政のケアをチェック

1、放射能測定

2、スクリーニング 被爆検査

3、医療措置

4、メンタルケア 恐怖、不安母親の自責など心の傷、痛手の癒し

5、事故情報の正確な公開